

群馬県立図書館活用パートナーシップ事業イベント 「みやま文庫特別講演会 小栗上野介の真実」を開催します

群馬県立図書館では、県内で活動する団体と図書館が連携・協働することにより、県民の社会教育活動の推進を図ることを目的に、県立図書館活用パートナーシップ事業を実施しています。

このたび、みやま文庫主催により、標記イベントを開催します。

記

- 1 日 時 令和7年9月27日（土）13時30分～15時30分
- 2 会 場 群馬県立図書館 3階ホール （前橋市日吉町1-9-1）
- 3 講演内容 「幕府の運命、日本の運命：小栗上野介の日本近代化」
講師：村上 泰賢（むらかみ・たいけん）氏 （東善寺住職）
「復刊で目指すもの」 講師：藤井 浩 （みやま文庫編集長）
「増補改訂版余話」 講師：富澤 隆夫 （みやま文庫編集担当）
- 4 定 員 等 100名
- 5 参 加 費 無料
- 6 参加方法 下記問合せ先のいずれかに、電話又は電子メールによりお申込みください。
- 7 主 催 みやま文庫
- 8 問合せ先 （1）みやま文庫事務局 電話：027-232-4241
（2）群馬県立図書館 企画・地域協力係 長竹
電話：027-231-3008 電子メール：taikai@library.pref.gunma.jp
- 9 そ の 他 詳細は、別添のチラシを御参照ください。

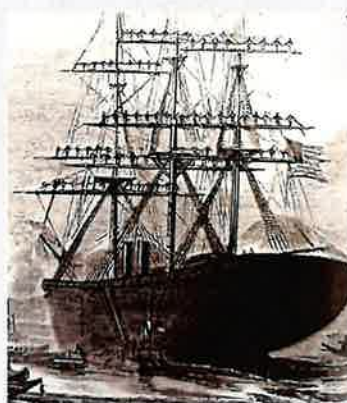
【群馬県立図書館活用パートナーシップ事業とは】

講演会、講習会などジャンル・形式等を問わず、県立図書館と協働することで県民の社会教育活動の推進に寄与する団体からの事業提案を募集し、採択された事業に対して、県立図書館の蔵書、ホール等の施設・設備を提供するとともに、広報のサポートを行う事業です。

みやま文庫特別講演会

小栗上野介

の真実



小栗ら使節一行を乗せたナイヤガラ号

幕府の運命に限りがあるとも、
日本の運命には限りなし―

(小栗上野介)

9月27日(土)
13:30~15:30

会場

群馬県立図書館3階ホール
(前橋市日吉町1丁目9-1)

参加費 無料

申し込み 電話またはメール
(下記の[申し込み・問い合わせ先]に)

定員 100名

2027年のNHK大河ドラマ「逆賊の幕臣」で高崎市倉渚町ゆかりの小栗上野介が主人公として取り上げられることが決まったのを受けて、みやま文庫は絶版となっている『小栗上野介』(増補改訂版)を刊行します。これに合わせて、小栗の実像と功績を広く知ってもらうため、筆者の村上泰賢氏が講演を行い、さらに編集担当者がみやま文庫の役割、今回の復刊の狙いを解説します。



小栗上野介 おぐり こうずけのすけ
(1827-1868)

江戸・神田駿河台の旗本の子として生まれた。大老、井伊直弼に見いだされ、遣米使節として渡米。帰国後、勘定奉行、軍艦奉行など要職を務め、横須賀造船所の建設提言や関税率改訂交渉、軍制改革などに取り組んだ。大政奉還後、旧権田村(現高崎市倉渚町)に移り住んだが、新政府軍に無実の罪を着せられ、村内の河原で斬首された。

講演

幕府の運命、日本の運命 —小栗上野介の日本近代化—

講師 東善寺住職 村上 泰賢

復刊で目指すもの

講師 藤井 浩 (みやま文庫編集長)

増補改訂版余話

講師 富澤 隆夫 (みやま文庫編集担当)

むらかみ たいけん

1941年生まれ。駒澤大学文学部卒業。群馬県立高校教諭を経て、曹洞宗東善寺住職。小栗上野介顕彰会理事。著書に『小栗忠順のすべて』(新人物往来社、2008年)、『小栗上野介〜忘れられた悲劇の幕臣』(平凡社新書、2010年)ほか。



みやま文庫第174巻

『小栗上野介』増補改訂版

販売価格 1,500円(税込)

会員価格 1,000円(税込)

【申し込み・問い合わせ先】

みやま文庫事務局 TEL: 027-232-4241

県立図書館企画・地域協力係 TEL: 027-231-3008

E-mail: taikai@Library.pref.gunma.jp

みやま文庫事務局

〒371-0017

群馬県前橋市日吉町1丁目9-1

(群馬県立図書館4階)